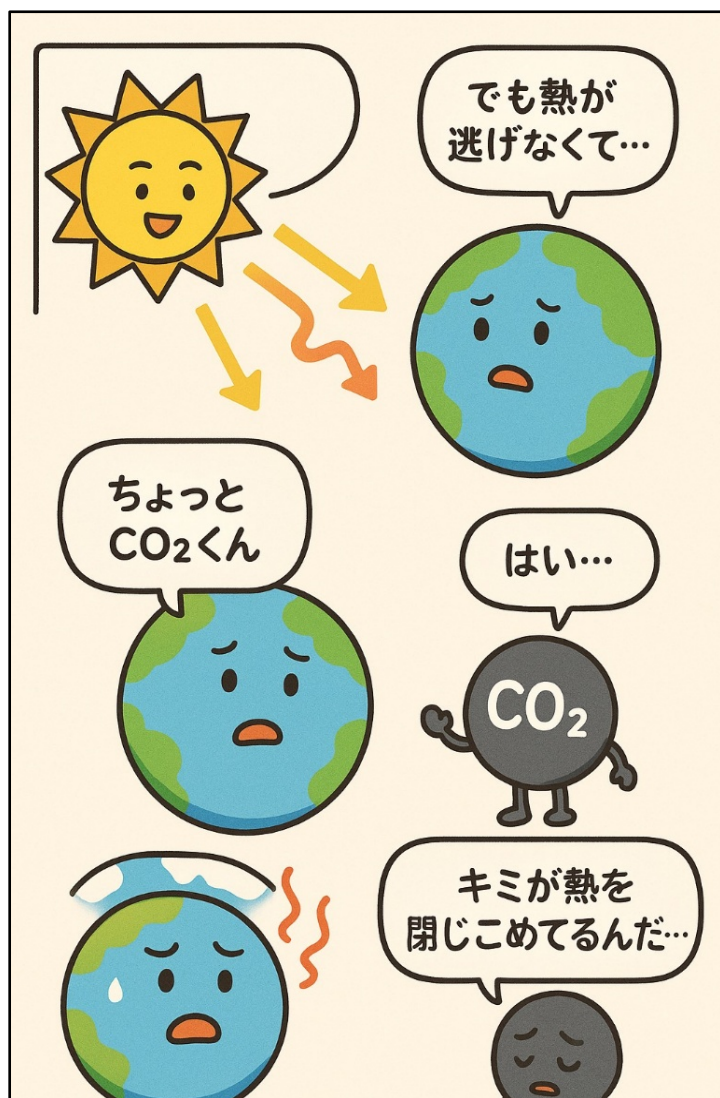




地球温暖化の原因は？

地球温暖化の原因は「温室効果ガス(二酸化炭素、メタン、亜酸化窒素)」の増加ですと云われています。でも、具体的なメカニズムとなるとわからないので……。ということで今回は地球が温暖化するメカニズムをやさしく解説してみようと思います。

地球の地面、海、植物などを温めるエネルギーの元は太陽が発する太陽光です。太陽光には、赤・橙・黄・緑・青・藍・紫など私たちの目で見ることのできる可視光。光のエネルギーが強く日焼けの原因となる紫外線。光を熱と感じる赤外線があります。これら3つの太陽光によって地球は温められていきますが、温められた地球は一定の温度を保つために熱源の一つである赤外線(熱)を宇宙に放出しています。ところが、人間の生産活動によって石炭、石油の化石燃料の使用、森林伐採で地面の露出、工業化による生産活動などで温室効果ガスといわれる二酸化炭素、メタン、亜酸化窒素が大幅に増えていきました。



あなたもわずか30秒で情報通! 活用法いろいろ コミュニケーションペーパー



温室効果ガスとは？

この温室効果ガスは地球の「熱」を吸収して四方八方に再放射するメカニズムを持っています。この再放射するメカニズムは宇宙に放射されるべき熱の一部を大気中に滞留させ、その上、逆に地表に熱を戻すという現象を生み出します。



この結果、地球が温まる現象が生じました。これが温室効果といわれる現象です。

温室効果は地球を温め、熱を逃がさないということで地球を温める「毛布」なのです。これが温室効果ガスによる地球に熱が溜まりすぎる現象です。地球温暖化の原因です。

このように熱が地球に閉じ込められすぎる結果、気温が上昇します。気温が上昇すると熱波の増加、豪雨・大型台風の頻発化、異常気象、氷床や氷河の融解、海面上昇、海の酸性化、生態系の変化などが生じていきます。

温暖化を防ぐには私たちの日常生活から変えていかなければなりません。

さくら保険サービス通信

〒830-0016 福岡県久留米市通東町3-5杉本ビル2F
TEL 0942-37-7351 FAX 0942-37-7352
さくら保険サービスのURL <http://www.sakura-hoken.com/>

25年
12月号

あなたもわずか30秒で情報通！ 活用法いろいろ コミュニケーションペーパー



家庭でできる 地球温暖化防止の取組 その1

1. リビング

【テレビ】

- ・テレビのつけっぱなしをやめる。
- ・画面の明るさを最適にする。

【照明】

- ・必要のない照明をこまめに消す。
- ・高効率蛍光灯やLED照明に交換する。

【エアコン】

- ・冷房時の室温は28℃以上。
暖房時の室温は20℃以下で
エアコンに頼りすぎない
ライフスタイルを心がける。

【その他】

- ・使っていない家電の主電源を切る。
- ・ひとつの部屋で家族みんなの団らんをする。
- ・早めの就寝を心がける。

2. キッチン

【冷蔵庫】

- ・扉をむだに開閉しない。
- ・温度を適切に設定する。
- ・食品を詰め込みすぎない。

【炊飯器・電気ポット】

- ・できるだけ保温機能を使わない。
- ・長時間使わないときはプラグを抜く。

【電子レンジ】

- ・残りご飯は保温せず冷凍して、
レンジで解凍する。
- ・野菜の下ごしらえはレンジでする。

【ごみ】

- ・ご飯は残さず食べる。
- ・ゴミの分別を徹底する。

3. 水まわり

【風呂】

- ・できるだけシャワーを使わない。
- ・風呂にためるお湯の量減らす。
- ・間隔をあけずにみんなが続けて入浴する。

【洗濯】

- ・できるだけまとめて洗濯する。
- ・風呂の残り湯を活用する。

【温水洗浄便座】

- ・便座や洗浄水の温度設定を下げる。
- ・こまめにふたを閉める。

さくら保険サービス通信

〒830-0016 福岡県久留米市通東町3-5杉本ビル2F
TEL 0942-37-7351 FAX 0942-37-7352
さくら保険サービスのURL <http://www.sakura-hoken.com/>

25年
12月号

あなたも **30秒** で情報通! 活用法いろいろ **コミュニケーションパー**



家庭でできる 地球温暖化防止の取組 その2

4. ドライブ

【自動車】

- ・急発進、急加速、急ブレーキをしない。
- ・アイドリングストップを心がける。
- ・定期的に点検整備をする。
- ・相乗りやスクーター利用を心がける。

5. その他

【緑のカーテンなどの省エネ行動】

- ・自宅でグリーンカーテンや屋上緑化に取り組む。
- ・マイバッグ、マイ箸などを持ち歩く。
- ・車を使わずに自転車や公共交通機関を利用する。
- ・できるだけエコ製品や
リサイクル製品を購入する。

【省エネ製品の購入など】

- ・古い電化製品を省エネタイプのものに買い替える。
- ・高効率給湯器、HEMSなどの省エネ機器を購入する。
- ・太陽光発電や太陽熱温水器を取り入れる

